

NEWJEC TIMES 第1号



特集

中部支店移転！コンセプトは『In harmony with People and Nature(自然と人との調和)』

- ◎受賞・表彰・感謝状一覧
- ◎社内イベント他の紹介
- ◎技術紹介 河川グループ「道頓堀川・遊歩道」
DX推進グループ「独自水空ドローン初号機」

▶特集

中部支店移転！コンセプトは『In harmony with People and Nature(自然と人との調和)』



健康経営の推進に伴い、令和6年7月16日（火）に中部支店が移転しました。大阪本社ビル1階の改修の方針と同様に空間のデザインを「ブランド戦略の展開」「生産性」「創造性」「ウェルビーイングの向上」の4つに整理し、エントランスホール、会議室、執務室に展開しました。

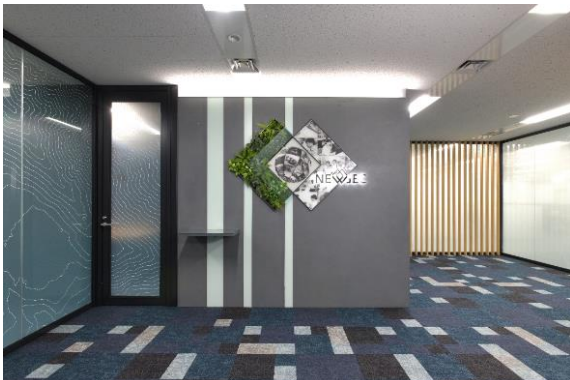
▶エントランスホール

ブランディングの場、“自然と人の調和”を表現

入って正面には左官仕上げの壁面に、NEWJECのシンボルでもあるWスクエアのデザインを施し、左側には自然を象徴する緑、右側には人を象徴する社員のグラフィック、中心部にはそれらの調和を象徴する中部支店の整備事例をグローバルなイメージを持つ球体のグラフィックとして表現しています。

また、3本のガラスは木曽三川をイメージして配置し、ダム、河川、港湾、上下水道といった水とのかかわりが強い当社の強みを想起させるデザインとしています。

加えて周辺部のガラス面には、NEWJECのORIGINである黒部ダム周辺のコンターを配することにより、よりブランディングの効果を高めるデザインとしています。



▶社内外「共創」スペース（会議室）

集中できる場、社内外共創の場

社内外の共創スペースとして、防音の会議室を整備し集中できる空間としました。各会議室のディスプレイを配置、Wi-Fi環境とすることで、Web会議が快適にできるような会議室として整備しました。



▶社内「共創」スペース

ウェルビーイング向上の場、社内共創の場

執務室内に、リフレッシュコーナー、リセット・コミュニケーションコーナーを設けることにより、新しいアイデアが創出される社内共創の場、ウェルビーイング向上の場を整備しました。



▶使いやすさを追求した執務室

支店のプロジェクトチームで検討を重ね、使いやすく、また、今後の増員に対応できる執務室のデザインとしました。

執務室中ほどに、ミーティングテーブルや手軽にスタンディングミーティングを行えるカウンター高のキャビネットを配置し、コミュニケーションの一層の活性化を狙っています。



新中部支店 アクセス



住所：〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 2-9-290RE
名古屋伏見ビル 4階

最寄り駅：名古屋市営地下鉄東山線
「伏見駅」より徒歩2分
名古屋市営地下鉄桜通線
「丸の内駅」より徒歩4分

電話番号：052-310-0990

F A X：052-310-0991



▶受賞・表彰・感謝状一覧

▶令和5年度 土木学会賞 受賞

令和6年6月14日、公益社団法人 土木学会より、土木学会賞を受賞しました。(共同受賞)

<技術賞 I Iグループ>

件名：「安威川ダムの建設(人と自然環境に調和した都市近郊型ダム)」

<技術開発賞>

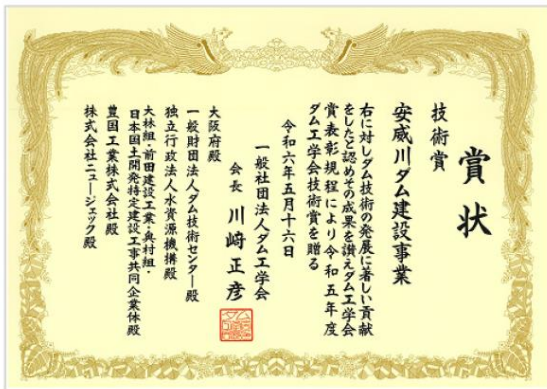
件名：「映像とAIによる河川流量の自動観測システム(Hydro-STIV)の開発」

▶ダム工学会 表彰

令和6年5月16日、一般社団法人 ダム工学会より表彰されました。(共同受賞)

<技術賞>

事業名：「安威川ダム建設事業」



<論文賞>

「Study on Mix Proportion Design Procedure for Super-high Cementitious RCC with Stone Powder Replacement」

<技術開発賞>

「合理的なカーテングラウチング、Hybrid工法の開発」



▶土木学会関西支部 技術賞

令和6年5月17日、公益社団法人 土木学会関西支部より「技術賞」を受賞しました。(共同受賞)

対象業績：寝屋川流域下水道門真守口増補プロジェクト - 魅力溢れる施工と空間利用 -



▶首都高速道路 感謝状

令和6年6月19日、首都高速道路 (株) 東京東局より感謝状が授与されました。

業務名称：(修)建物改修設計 2022-2-1



▶関西電力送配電 感謝状

令和6年5月13日、関西電力送配電(株)より送配電Gに感謝状が授与されました。

業務名称：JEC510 設計手法の早期適用に向けた対応



▶社内イベント他の紹介

▶第10回世界水フォーラム日本パビリオンに出展!

令和6年5月20日～25日にインドネシアのバリ島において「第10回世界水フォーラム」が開催されました。当社は、「水道施設の漏水検知システム」「アップーチソカン揚水発電」を日本パビリオンに出展しました。



▶「EE東北'24」に出展!

令和6年6月5日(水)、6日(木)、みやぎ産業交流センター 夢メッセみやぎ(宮城県仙台市)において、「EE東北'24」が開催されました。当社は、「次世代型流量観測」、「河川氾濫シミュレーションの臨場体験システム」、「道路路面のIRI簡易計測システム『ACTUS』」などを展示しました。

◎今後の出展予定

- ・建設技術展 2024 近畿：11月7日～8日 (インテックス大阪)
- ・建設技術展 2024 関東：11月13日～14日 (池袋サンシャインシティ展示ホール)
- ・建設技術フェア 2024 in 中部：11月28日～29日 (ポートメッセなごや)

▶ニュージェックオリジナルグッズ完成!

ニュージェックちゃんイラスト入りクリアファイルとボールペンを作成しました! 採用活動時や展示会で配布予定です!



▶スポーツフェスティバル開催!

令和6年6月22日(土)に「ニュージェックスポーツフェスティバル2024」が労使共催で開催されました! 従業員とご家族の134名が参加し大いに盛り上がりました!



▶公式YouTubeチャンネルに動画投稿中!

ニュージェック公式YouTubeチャンネルを開設し、働き方についてや社員の様子など様々な動画を投稿しております! 是非ご覧下さい!

◎公式YouTubeチャンネル⇒[YouTube](#)

▶防災教育出前講座実施!

令和6年6月29日(土)に、NPO法人あすの夢土木との共催で、伊丹市立笹原小学校にて防災教育出前講座を実施しました。

ジオラマ模型を用いた水害再現の実演と防災クイズを実施し、水害に対する理解や防災意識の向上に微力ながら貢献できたのではないかと考えています。引き続き実施してゆきます。

◎特設ページ↓

<https://www.newjeco.co.jp/n-expo/>



ニュージェットの

技術紹介!!



第1弾は…道頓堀川・遊歩道



基本情報

場所…大阪市中央区

業務を行ったグループ

…河川G、都市・上下水道Gなど



▶業務内容

道頓堀川の遊歩道および船着場（戎橋から道頓堀橋間、道頓堀橋から新戎橋間）の構造計算、図面作成、数量計算、施工・仮設計画等の詳細設計、遊歩道上面施設検討、景観検討などを実施しました。

▶業務を行う背景と目的

道頓堀川水辺整備事業は、大阪市が掲げるまちづくりの目標「水の都・大阪」再生に向け、道頓堀川の水辺に親水性の高い遊歩道を整備し、その潤いある新鮮な空間によって都市魅力の向上に寄与

することをめざしたものです。

▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント

戎橋～新戎橋の間は大阪を象徴するミナミの中心であることを踏まえた利用面・景観面、遊歩道背面にビルが近接し地盤が軟弱である中での施工方法（街中での水上工事）について工夫しました。

▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果

遊歩道は「とんぼりリバーウォーク」と称され、当社の設計区間はその中でも中心地であり、完成後は遊歩道上での物販販売、飲食店のオープンテラス、イベントステージとしての利用、遊覧船の運行、接岸等が行われるようになり、賑わいが一段と創出できたことが社会に貢献できた点だと思います！！（河川グループ今北勝也）

ニュージェットの

技術紹介!!



第2弾は…河川断面を省力で計測することができる 独自水空ドローン初号機



↑ 障害物を回避



↑ 水上航行の様子

大阪本社 1 階に実機模型展示中です!!

基本情報

共同開発を行ったグループ
…DX推進 G、河川 G



▶共同開発内容

公益財団法人河川財団らと共同で「水空ドローン初号機-MBS搭載 ver.」を開発し、少ない作業工数で実河川での河川水面下の地形計測（河床形状）を測定する事に成功しました。

▶共同開発を行う背景と目的

長年、洪水時における流れのモデルについては計測手段がなく、机上での計算により検討されてきました。しかし、洪水時には河床が変化し断面変化が生じている事が報告され、実河川の洪水時における河川断面の実測（観測）が強く望まれてきているので、ニーズに対応すべく開発しました。

▶共同開発を進めるうえで工夫した点やポイント
従来のボート型の調査工と比べてドローンである

必要性を示すことに大変苦労しましたが、実証飛行のなかで「初号機」と「ボート搭載型計測セット」による作業時間比較を行い、ドローン調査 0.75 時間（必要人工 2 人）、ボート調査 6.5 時間（必要人工 4 人）と、延べ人工比で 1/16.7 と圧倒的な作業効率化事例を示す事ができました。

▶この共同開発によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果

当機によって得られた断面形状データは点群形式として採取されるため、3次元設計への有効活用や、河川の維持管理効率化への寄与、より正確な河川流下モデルの検証研究に大きく役立つと期待されています。また近年では、壊れてから対処する事後保全型から、平時の詳細な点検により予防的に管理を行い、リスクの低減や効果的な財政出動を図る予防保全型の要求が高まっていることもあり、大きく社会貢献できる技術に育ってゆくと確信しています！（DX推進グループ黒田幸智）